

とだ 議会だより

No.228
12 令和6年
月定例会
発行：2025年1月31日



中学生社会体験チャレンジ in 戸田市議会



中学生社会体験チャレンジ in 議会	▷2
6名の勇退議員を紹介	▷4
そこが聞きたい！一般質問 18人の議員が質問	▷5
4年間の委員会活動報告	▷18



Instagram



Facebook



戸田市議会HP

戸田市議会 検索

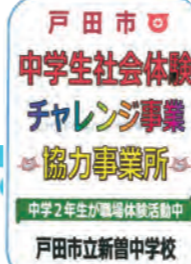
<https://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>
表紙：中学生社会体験チャレンジ

表紙写真
紹介

「中学生社会体験チャレンジ」 中学生が議会の 職場体験に来ました!



地域の中でさまざまな社会体験活動をととして、学校では得られない経験を積むことで、豊かな感性や社会性、自律心を養うことなどを目的としている中学生社会体験チャレンジ事業として、新曽中学校の生徒3名が市議会の定例会中に職場体験を行いました。



中学生の職場体験 in 戸田市議会

12月4、5、6日に実施された職場体験では、市議会がどのように市政に関わっているのかなど、議会の基本はもちろんのこと、それをどのように市民に伝えるかといったことにもチャレンジしてもらいました。

内容は、傍聴受付、一般質問原稿の読み合わせ作業、議会広報委員会への出席、一般質問中の写真撮影など、議会運営に係るさまざまな業務を経験していただきました。また、議会の重要性とその活動内容を広く伝えるためのメディアコンテンツを制作しています。制作した動画は、議会公式 Instagram に投稿しましたので、ぜひご覧ください。

このような実践的な学びが、社会の一員としての意識を深めるきっかけとなり、戸田市の未来のためにも住み良いまちづくりや政治に対する関心につながることを願っています。



中山 魁人さん

戸田市役所で働いてみて、最初は緊張してしまえるかなという不安はありましたが、傍聴の受け付けや委員会に参加して、議員さんたちと触れ合ったりして緊張もほぐれてきて、すごく楽しかったですし、議会の傍聴席から見学させてもらい、戸田市の未来を変える大事な質問などがあり、凄く勉強になりました。

川島 終治さん

今回の3日間を通して、議会の仕組みだったり、戸田市民のために議員の方たちが政策を考えてくれていることを初めて知ることができました。普段の生活では、あまり触れることがないことだったので、とても良い経験になったと同時に、市役所や市議会に関心を持つことができました。この市を支えている議員の方々や、事務局の方々に感謝したいです。

赤坂 直哉さん

今回の職場体験学習を通して、市民の生活を支えてくれている人たちがどのような仕事をしているのか知ることができました。議会事務局での仕事は、始めてやることばかりでとても緊張したけれど事務局の方々が優しく教えてくれたり、たくさん話しかけてくれて緊張がほぐれ楽しく仕事をすることができました。

令和6年12月定例会

11月27日～12月17日

議案などの
詳細はこちら



主な議案

今定例会では、市長提出議案などが35件、委員会提出議案が2件提出され、いずれも可決・承認・同意された他、陳情2件がいずれも採択されました。ここでは、主な議案などを紹介します。

条例

議案第95号 戸田市学童保育室条例の一部を改正する条例について 芦原小学校学童保育室の増室

原案可決

芦原小学校学童保育室を1室から2室に増室し、定員を1室70名から2室100名とし、これまでより30名の新たな受け入れが可能となるものです。



条例

議案第98号 戸田市生活資金貸付条例を廃止する条例

原案可決(賛成22人反対3人)

市の生活資金貸付制度の廃止 優れた支援策との連携による国の貸付制度推進へ

昭和41年創設の戸田市生活資金貸付制度は低所得世帯に対して生活資金の貸付けを行うことにより、経済的な自立と生活意欲の助長、促進に寄与してきたところです。現在は社会福祉協議会が生活困窮者自立支援制度と連携し生活福祉資金貸付金制度を行っていることから、本制度を廃止するものです。

反対

日本共産党戸田市議団
むとう葉子 議員



本制度は近年、利用者がおらず廃止の提案がなされたが、保証人要件が利用障壁となっていた。保証人要件が市内から近隣市へと拡大されたが、それでも借りたくても借りられない人々が存在し、制度の周知が充分に行われていなかったと感じる。また、生活福祉貸付事業と比較して、生活資金貸付制度が緊急時の一時的な支援手段として重要であり、生活福祉貸付事業でカバーできるとのことだが、それでも困っている人にとっては本制度を重複利用することも可能とのことである。物価高騰の影響で生活が困窮する世帯が増えている現在、本制度は大変重要なセーフティネットとなりえるため、生活資金を貸すことに自治体が責任を持ち、維持するべきだと考え反対する。

賛成

戸田の会
酒井郁郎 議員



本市の生活資金貸付制度は昭和41年に創設されましたが、近年利用者がいなかった。それは、国が実施し、県が運用する生活福祉資金貸付制度の充実に伴い、利用者が減ったと考えられる。本市制度が本当に役割を終えたのかどうか考察し、その結果が以下3点である。

1. 国の制度は包括的な支援が可能であり、地域社会の中で生活を立て直し、自立するための支援が可能。
 2. 国の制度は連帯保証人を必要としないため、本市制度よりも利用者にとって便利。
 3. 本市制度が廃止されても、国の制度の対象外になる人はいないと考えられる。
- 以上の理由から、本市の生活資金貸付制度を廃止し、そのコストを別の有意義な事業に回し、市民の福祉向上に役立てるべきと考え賛成する。

人事

◎人権擁護委員候補者

たけうち 利行氏(再任)
あきもと 淑子氏(再任)

かとう 百合子氏(再任)
あべ 圭一郎氏(再任)

たぐち 香代子氏(再任)
こやま みゆき氏(新任)

《結果》いずれも同意(全会一致)

陳情

今定例会では、委員会にて審査した結果、陳情 2 件が採択となりました。

- ◇陳情第 8 号（令和 4 年） 要介護 1、2 の人の生活援助等の介護保険給付を市町村の総合事業に移行することについての意見書提出に関する要望書 **採択（全会一致）**
- ◇陳情第 9 号（令和 6 年） 障がい児（者）とその家族の支援を求める陳情 **採択（全会一致）**

意見書

陳情第 8 号が採択されたことに伴い、委員会提出議案として意見書 1 件を可決し、国・政府に提出しました。

- ◇要介護 1 又は 2 の人の生活援助等の介護保険給付を市区町村の総合事業に移行することについての意見書 **原案可決**

規則

議場システムが新しくなったことにより、電子採決が行えるようになりました。この電子採決機能を使用するために、委員会提出議案として、規則の改正を行いました。

- ◇戸田市議会会議規則の一部を改正する規則 **原案可決**

勇退議員の紹介

長い間お疲れ様でした

thank you for your hard work

今議会を最後に、6 名の議員が勇退を表明されました。ここに市政の発展に多大な功績を残された 6 名の略歴を紹介いたします。

峯岸 義雄 議員

平成 25 年から連続 3 期 12 年間にわたり市政に貢献。その間、副議長や総務常任委員長、蕨戸田衛生センター組合議長などを歴任。



花井 伸子 議員

平成 5 年から連続 8 期 32 年間にわたり市政に貢献。その間、文教経済常任委員長、健康福祉常任委員長などを歴任。



三浦 芳一 議員

平成 17 年から連続 5 期 20 年間にわたり市政に貢献。その間、2 度の議長や総務常任委員長、議会運営委員長などを歴任。



伊東 秀浩 議員

平成 13 年から連続 6 期 24 年間にわたり市政に貢献。その間、議長や議会運営委員長、議会広報委員長などを歴任。



山崎 雅俊 議員

平成 9 年から連続 7 期 28 年間にわたり市政に貢献。その間、議長や議会運営委員長、健康福祉常任委員長などを歴任。



熊木 照明 議員

平成 13 年から連続 6 期 24 年間にわたり市政に貢献。その間、議長や議会運営委員長、総務常任委員長などを歴任。



一般質問

そこが聞きたい！

議員は、毎年 3 月、6 月、9 月、12 月に開催される定例会で、市政全般に対し質問をすることができます。

これを「一般質問」といいます。

今定例会では、18 人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しています。

なお、各ページに掲載している QR コードから、各議員の一般質問の録画配信映像をご覧ください。

デジタル化推進



つぶやき

デジタル化の推進を

みらいの会

そごう 拓也 議員



Q 第 4 次情報化推進計画の策定は

A 現状把握と整理を行い、動向を踏まえ策定

議員 本市のデジタル化推進について、① A I 活用 ② 行政のデジタル化 ③ デジタル人材の確保・育成 ④ 地理空間情報の活用、3 D 都市モデルの統合型 G I S への導入検討、いいとだマップへの防災・安全情報の集約についての見解 ⑤ 次期情報化推進計画の方向性について伺う。

企画財政部長 ① A I 活用では、A I 総合案内サービスや固定資産税 A I 解析を導入し、生成 A I は文書作成などに活用している。職員向け A I 活用は精度向上を注視しつつ検討を続け、生成 A I による市民向け案内サービスは自動学習機能を活用し、多言語対応も目指す ② 行政のデジタル化では、テレワークシステム導入による在宅勤務やペーパーレス化を推進 ③ デジタル人材は経験者採用と D X 研修を実施 ④ 地理空間情報は統合型 G I S を活用。令和 7 年度システム更改時にさらなる活用を検討する。いいとだマップはより分かりやすい情報発信に努める ⑤ 次期情報化推進計画では、現状課題の把握と整理を行い、技術動向を踏まえ策定する。



AI 総合案内サービスと第 3 次情報化推進計画



録画配信 

戸田市のごみ問題

つぶやき
高齢化でごみ集積所の管理がさらに困難に

戸田の会
みや うち
宮内 そうこ 議員

Q 市民のごみの悩みを聞く相談窓口を

A 現在でも環境課で対応している

議員 市民からごみに関する相談が増えており、ごみの問題に悩む市民は非常に多いと感じる。ルールを守らない人が原因で荒れたごみ集積所への対策は。

環境経済部長 定期的なパトロールで監視している。

議員 誰もが不法投棄を通報できる「不法投棄110番」やLINE通報システムなど、窓口の一元化を。

環境経済部長 既存の窓口をホームページで周知する。

議員 荒れた集積所へセンサーライトの貸し出しは。

環境経済部長 衛生自治会の交付金で購入可能である。

議員 それでは申請に時間がかかる。迅速な対応を。また、古い籠は重ねると外しにくい、その対応は。

環境経済部長 相談をいただければ交換など対応する。

議員 ごみの戸別収集について市の考えは。

環境経済部長 財政面や市民生活への影響が大きい事項であり、引き続き調査・研究していく。

議員 高齢化に伴い、今後ますますごみ集積所の管理が困難になる。多くの地域で課題を抱えており、市が相談窓口を設置し、積極的に解決に取り組んで欲しい。



ルールを守らない人が原因で荒れた集積所



録画配信 

公共施設のピアノ

つぶやき
市民誰もが気軽にピアノに触れる機会を！

戸田の会
さとう たかのぶ
佐藤 太信 議員

Q ピアノ貸出可能施設一覧表の掲載を

A 市ホームページ等に掲載、周知する

議員 市民からは「子供がグランドピアノやアップライトピアノに触れる機会が公共施設にあると良い」との声がある①利用できるグランドピアノがある市内の公共施設は②ピアノを利用したい場合、公共施設ごとに確認しなければならない。公共施設のピアノ貸出可能施設一覧表を、市ホームページなどに掲載を③市民が利用できるピアノの拡大を④福祉センターの再整備を含めた今後の公共施設の再編の際に、ピアノの設置など、文化芸術に関する市民の声が反映されるのか。

市民生活部長 ①貸出可能なグランドピアノは、文化会館に5台、さくらパルに1台、新曽福祉センターに1台設置されている②利便性を向上させるため、市ホームページなどにおいて掲載、周知する。

こども青少年部長 ③こどもの国では、今後、職員が見守る中で、子供たちがグランドピアノを弾くことができるイベントなどについて検討する。

企画財政部長 ④福祉センターは、市民ワークショップを通して、さまざまな世代の方に利用してもらえる施設を目指して検討を進める。他の公共施設の建替えなどの際にも同様に、可能な限り多様な意見に耳を傾け、ニーズを捉える。



戸田市文化会館多目的ルームのグランドピアノ



録画配信 

横断歩道で手を上げよう

つぶやき
大人や子供も横断歩道でハンドサイン！

戸田の会
のざわ しげ まさ
野澤 茂雅 議員

Q 横断歩道で歩行者をより認識するには

A KEEP38プロジェクトを推進していく

議員 本市の交通事故発生状況は、前年比24.5%増の234件。県内では2番目に高い増加率である。さらに、信号機のない横断歩道での車の一時停止率は、埼玉県50.08%、長野県87.0%。この大きな差を埋めるためのハード面、ソフト面における対策は。

都市整備部長 横断歩道付近にラバーポール、路面標示、注意喚起看板を設置している。また、埼玉県警と連携し、横断歩道における歩行者優先に関する取り組み「KEEP38プロジェクト」を進めている。

議員 信号機のない横断歩道における車の一時停止は、「運転者がいかに歩行者に気がつくか」がポイントである。長野県の手を上げる運動は子供の頃から習慣づけられ、当時の子供が大人になって運転するようになってからも習慣が身につけているため、歩行者、運転者双方のマナー意識が高い。本市の小中学校での指導は。

教育部長 今年度は特に、横断歩道を横断する際は、手を上げるなどハンドサインで横断する意思表示を運転者に示すよう各校で指導した。

議員 手を上げると8割以上の車両が止まるとされている。大人も子供も信号機のない横断歩道で手を上げる取り組みを推進するよう引き続き要望する。



信号機のない横断歩道の交通安全



録画配信 

課題解決型学習

つぶやき
学校での学びの意味が実感できる教育に感動

とだ彩光会
はやし ふゆ ひこ
林 冬彦 議員

Q 戸田型PBLで子供たちに期待する効果は

A 実社会や実生活で生きて働く力の習得

議員 市立小・中学校の総合的な学習時間で行われている課題解決型学習「戸田型PBL」を行う意図は何か。

教育部長 教科等の枠を超えた探究的な学習を通して、各教科等で学んだことを活用し、より良い課題の解決と自身の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを意図している。本市では特に地域や社会との関わりを大切に、子供たちが実社会や実生活で生きて働く力を身につけていけるよう努めている。

議員 取り組みを行った際の子供たちへのフォローは。

教育部長 取り組みから学ぶことが実社会・実生活とつながった学びであると捉えている。戸ヶ崎教育長が就任以来大切にしている「脱・予定調和の学び」への挑戦に向け、失敗を恐れないことの実現と捉え、さらなる探究活動の原動力となるよう指導を行っている。

議員 先般、戸田東小・中学校の研究発表会に参加し、授業における児童生徒の取り組みの姿や表情、話を伺った教員の方々の様子から、戸田型PBLは皆がともに成長する取り組みだと実感した。昭和や平成中期までとは違う教育の姿がここにある。多くの方にこの現場を見ていただき、本市の教育の姿を知ってほしい。引き続き取り組みを進めていただきたい。応援する。



東小・中学校の研究発表会チラシ

録画配信 **障害児福祉**

つぶやき
障がいがある子ども市内で安心して暮らせるように

日本共産党戸田市議団
むとう 葉子 議員

Q 特別支援員の処遇改善と増員を

A 働きやすい環境づくりに努め、増員は検討

議員 ①障害のある子が小学校に入学する際の連携は②特別支援学級の先生の研修に係る支援体制は。特別支援員の雇用条件見直しと増員を③放課後等デイサービスの廃止の流れと市の支援体制は。

教育部長 ①10月の就学児健診に先駆けて、4月から就学相談を行っている②県や市の研修に参加するほか、リアルタイムでのサポートを受けられる体制などが整っている。また、支援員が働きやすい環境づくりに努めるとともに、増員については財政部局と相談し、総合的に検討する。

健康福祉部長 ③児童福祉法に基づき、事業を廃止する際は、他の事業所と連絡調整を行い、事業を廃止する1か月前までに知事に届出を行うことが規定されている。市は個々の利用者の状況に応じて必要な支援を行う。

議員 民間が運営する放課後等デイサービスが廃止されて、他事業所からは利用を断られる重度(重複)の障害児がいる。埼玉県へ報告し、課題解決を求める。



障害のある子が通う放課後等デイサービスでの活動

その他の質問

Q ジェンダー平等社会の実現を。

A 理念の更なる浸透に向け、今後も意識啓発に努める。

録画配信 **防災・減災**

つぶやき
驚き！直接死より関連死の方が多いとは

公明党
三浦 芳一 議員

Q 避難所改善へ「スフィア基準」の導入を

A 避難所運営等の重要な基準と認識

議員 避難所での災害関連死が、直接死を上回っている。主な支援分野「水・衛生」「食料・栄養」「避難所・避難先の居住地」「保健医療」がある。国際基準である「スフィア基準」の導入を強く求める。

危機管理監 今後もスフィア基準を参考としながら、災害への備えをさらに進めていく。

議員 避難者が一番困った事はトイレ問題。女性のトイレは男性の3倍必要、対策を求める。

危機管理監 スフィア基準も踏まえて、避難生活の質の向上に向けて総合的な対策に努めていく。



トイレ問題の対策が求められる

Q 「ありがとう」条例の啓発・促進を。

A 機会を捉え取り組む。

議員 善悪に渡り言葉には力がある。感謝の言葉「ありがとう」を伝え合おう条例の全体的な啓発・促進を。
企画財政部長 チラシや啓発グッズの作成等の他、またイベント会議等の様々な機会を捉えて取り組んでいく。

教育部長 市内全校に、校長会議等を通じ周知している。学校教育全般で感謝の気持ちを持ち、無理なく自然に「ありがとう」を伝え合う意識を醸成していく。

録画配信 **高齢者支援**

つぶやき
聞きやすくなるので安心して相談できます！

公明党
三輪 なお子 議員

Q 軟骨伝導イヤホンを導入しては

A 効果や利用実態を調査し判断する

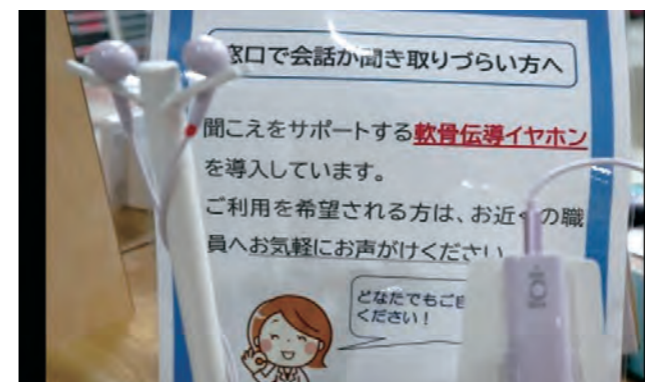
議員 市役所窓口で、耳の聞こえにくい高齢者の方などが安心して相談できる体制について伺う。

健康福祉部長 手話通訳者や簡易筆談器、コミュニケーションボード等を活用している。個人情報など配慮が必要な場合など個別の対応を行っている。

議員 軟骨伝導イヤホンを相談窓口を設置する自治体などが125団体に上る。耳の穴に入れなくても明瞭に音が聞こえ、大声で話すこともなく個人情報を周囲に聞かれるリスクを減らすことができる。難聴者のプライバシー保護につながるため導入してはいかがか。

健康福祉部長 その効果や利用実態を把握し、調査内容を踏まえ、設置すべきかどうか判断していく。

議員 ぜひ、軟骨伝導イヤホンの導入を要望する。



軟骨伝導イヤホン(紀美野町公式ホームページより引用)

Q 認知症予防「物忘れ検診」を実施しては

A 医師会との連携、調整などを検討

議員 多くの自治体で実施の認知症を早期に診断し、支援を図る目的とした「物忘れ検診」の導入について。
健康福祉部長 蕨市医師会や二次保健医療圏域を同じくする蕨市及び川口市と連携及び検討する必要がある。

議員 先進自治体の事例を検証し、検討を要望する。

録画配信 **ホームドア設置**

つぶやき
1日も早いホームドアの設置を！

公明党
竹内 正明 議員

Q 埼京線3駅での人身事故多い。対策を

A 積極的かつ強気に働き掛けていく

議員 埼京線3駅で人身事故が多すぎるとの声が多い。平成28年にも質問している。対策を。市長の決意は。

市長 制度や技術的・物理的な側面からホームドア設置に向けた環境が整いつつある。1日も早い設置に向けJR東日本に積極的かつ強気に働き掛けていく。



早急なホームドアの設置が求められます

Q さらなる防犯対策の強化を

A 他市の取り組みを参考に検討を進める

議員 私が議員になった12年前には市の予算で設置した防犯カメラはなかった。提案し続け現在は見守り防犯カメラなど400台まで拡大した。しかし、県内でも強盗事件が多発し市民から不安の声が多い。特殊詐欺の被害も発生している。さらなる防犯対策の強化を。

市民生活部長 自宅の防犯対策への支援、「特殊詐欺防止の警告アナウンス付き自動録音機」の貸出事業など、市においても検討を進めていく。

その他の質問

Q シニア世代の活動活発化のために、「アクティブシニア・サポート・ナビ」や「集いの場マップ」などのシニア活動が網羅されている資料の周知を。

A 各種イベントや出前講座など、シニアが集まる場所でのPRなどを行っている。

録画配信 **新年度予算編成**

つぶやき
戸田市の豊かな財政を生かした
予算編成を

日本共産党戸田市議団
ほんだ てつ
本田 哲 議員

Q 豊かな財政活かし物価高騰対策の実施を

A 状況を見定めながら総合的に判断する

議員 当市議団が実施した「市民アンケート」では、2年前と比べ、生活が厳しくなったとの回答が60パーセントに上る。令和7年度予算は、市民生活における負担軽減・生活支援等の施策実施が強く求められる。来年度の予算編成の考え方は。また、本市の豊かな財政を生かし、物価高騰対策を実施すべきではないか。

企画財政部長 「第5次総合振興計画」に掲げる7つの基本目標の実現や市民の「命と暮らしを守る」ための予算編成を進めている。今般の変化していく状況を見定めながら総合的に判断していく。

議員 地方自治の役割は「住民福祉の増進」である。市民が納めた税金は、暮らしに生かすべきである。

Q 市におけるホームドア設置の要請状況は。

A 埼玉県と連携し、積極的に働きかける。

議員 私たちは、埼京線3駅へのホームドア早期設置に向けて要望署名の提出や国会交渉も実施してきた。誰もが安心・安全に公共交通が利用できる環境整備は喫緊の課題。市におけるホームドア設置の要請状況は。

都市整備部長 市内3駅における整備が少しでも早くなるよう、埼玉県と連携し、積極的に働きかけていく。



市内3駅にホームドア設置が求められる

録画配信 **下笹目バス停整備**

つぶやき
高速バスの乗り入れができればいいな～

戸田の会
あそ う かず ひで
浅生 和英 議員

Q バスターミナルはどのように変わるか

A 安心して利用できるようにする予定

議員 下笹目バスターミナルは、老朽化が進み再整備されることになった。基本計画を立て、これから設計に入るところ。①バスターミナルの待合室はどのように変わるか②完成はいつか③国際興業バスは、羽田空港や東京ディズニーリゾートを結ぶ高速バスを運行している。高速バスなどの乗り入れについて。

都市整備部長 ①新たな待合室は、面積を現在の約8倍に拡大し、座席数を18席、女性と男性・多目的兼用のトイレを設置予定。また、バスの運行状況が確認できるデジタルサイネージや地域情報の発信スペースも設ける予定。さらに、ガラス面を大きくとり、光が降り注ぐようにするとともに、防犯カメラや照明施設を設置することで、路線バス最終時刻まで、安心して利用できるようにする予定。なお、敷地内に一般用灰皿などは設置しない予定②令和8年2月頃に工事完了予定③市長が要請しているが、進展はない。機会を見つけて働きかけていく。

議員 西部地域は、スーパー撤退やバス路線廃止など、厳しい状況が続いている。高速バス乗り入れの実現により、経済が活性化する可能性がある。地域の魅力を向上させるために丁寧かつ大胆に進めていただきたい。



下笹目バス停にある待合所

録画配信 **ホームドア早期設置**

つぶやき
ホームドア、埼京線1番目の設置が必須！

みらいの会
ふる や
古屋 としみつ 議員

Q 市内JR3駅でのホームドア早期設置を

A 大変重要であると認識している

議員 ホームドアの設置は、人身事故の抑制に効果的である。早期設置は必須。

都市整備部長 鉄道利用者の安全確保の観点からも、大変重要であると認識している。少しでも早く、市内3駅のホームドア設置の優先順位が上がるよう必要性を訴えていく。



左：埼京線のホームドアなし
右：京浜東北線のホームドアあり

Q 道満で宿泊キャンプができるよう整備を

A 協議が整えばナイトキャンプの検討可能

議員 市において、収益では計れない福祉や教育、防災など多岐にわたる事項がある。しかし、税金を使うだけでなく、市外から稼いで市民の皆様に還元できるのではないかと。例えば彩湖・道満グリーンパークにて宿泊キャンプができるように整備し、ふるさと納税返礼品を利用した市外からの寄付金で収益を上げることはいかがか。

環境経済部長 現状では夜間利用が禁止されているが、荒川上流河川事務所との協議が整えばナイトキャンプについて検討可能となる。

議員 市民の税金で運営されている彩湖・道満グリーンパーク駐車場を、安い市内料金と高い市外料金に分けたらいかがか。

環境経済部長 現状では、市内外の判別が難しいため、市内外料金の設定は困難。

録画配信 **冠水・浸水対策**

つぶやき
水害の無い街の実現を！

公明党
のぶ お
みうら 伸雄 議員

Q 国や県に対して、より一層の支援要望を

A 費用面での国庫補助金を最大限活用する

議員 大規模な雨水貯留管が北大通り地下に来年度完成予定となっているが、この貯留管によるオリンピック通り氷川町周辺の冠水・浸水被害の軽減に効果があるのかを伺う。

水安全部長 オリンピック通り氷川町周辺の雨水を直接、取り込むことはできないが、雨水貯留管が上流に位置していることで下流に流れる雨水の流量を低減させることにつながり、冠水・浸水被害に対して、一定の効果が期待できると考えている。

議員 笹目2丁目が長年にわたり道路の冠水、住居や飲食店への浸水被害に悩まされており、それに伴う対策がこれまで施されてきたが、今後の対策について伺う。

水安全部長 当該地区については引き続き、マンホールポンプの機能向上などの検討をはじめ、流域治水の考えに基づき、部局横断的に取り組むことで、総合的かつ多層的な冠水・浸水対策を推進していく。

議員 雨水貯留管のような大規模な対策について、一層の支援を国や県に求めるべきかと考えるが、見解は。

水安全部長 実施にあたっては、国庫補助金を最大限活用するなど、費用面での国、県からの支援を求めるとともに、河川整備などのさらなる推進についても要望していく。



戸田市 内水ハザードマップ



録画配信 

障害者就労

つぶやき
障害者就労3倍増、完全雇用は実現できる！

戸田の会
酒井 郁郎 議員

Q 障害者就労の3倍増を

A 熱心に、真摯に、働きかけていく

議員 障害者にとって就労は大きな課題。岡山県総社市は障害者就労を6年で6倍増に成功した。要因として市長のリーダーシップが大きい。特に一般企業に対する、障害者の仕事確保のためのトップセールスに情熱をもって取り組んでいる。市長の所感は。

市長 障害者の就労拡大について、企業と市民に、直接、熱心に、真摯に呼びかけていく。障害者からの調達については、目標額の達成のみならず、新たに調達できる物品や役務の開拓にはげむ。

Q 埼京線沿線の環境空間は良い土地利用を

A 道路整備などの条件付けは困難

議員 埼京線沿線の両側には、環境空間が広がる。現在、JRと市とで、住居系用途の制限緩和が検討されている。今後、未利用の環境空間は、JRによる賃貸住宅等での利用が検討されているそうだが、本市にとってプラスになるよう、無制限に住居系用途の利用を認めるのではなく、道路整備などを条件に加えるべきだ。

環境経済部長 JRの所有地であり、条件付けは困難。

議員 一たび開発されれば、長期間にわたって利用が固定される。3月末の期限ありきでなく良い内容を目指すべき。



埼京線沿線には荒涼とした環境空間が広がる



録画配信 

消防分署 建て替え

つぶやき
最も古く使いづらい西部分署の早急な建て替えを！

戸田の会
矢澤 青河 議員

Q 西部分署の整備と免許の補助推進を

A 施設整備と免許補助の検討を進める

議員 築53年、老朽化が進む消防西部分署の課題は。

消防長 屋外訓練スペースや女性仮眠室が確保出来ず、導線も複雑。狭いため同敷地内への建て替えも難しく、代替地の確保などが課題。施設整備の検討を行う。

議員 消防職員の運転免許補助の近隣市の状況は。大型免許は個人負担が大きいため補助できないか。

消防長 県内の消防26本部中、19本部で補助を実施。運転免許の補助について前向きに検討を進める。

Q 老朽化が進むプリムローズの再整備を

A 時代のニーズに合った施設を目指す

議員 築32年のプリムローズは老朽化が進み、大規模改修を予定。施設への要望や現状と今後について。

こども健やか部長 令和7年から設計、令和9年から工事を予定。吹抜のガラス窓の雨漏りや照明の暗さ、和式トイレの改善など課題も多い。一方、屋内運動場やダンス・演奏スタジオ、ミニキッチン設置などの要望がある。時代のニーズにあった施設を目指す。

議員 デザイン重視の特徴的な建物構造で、大規模修繕だけでは改善が難しく、維持管理が高額になるなどの懸念がある。建て替えを含めた検討を要望する。



プリムローズの施設の課題



録画配信 

習い事への助成金

つぶやき
夜も利用可のドッグランは需要も多いはず

立憲民主とだ
小金澤 優 議員

Q 所得制限等なく月謝や入会金に補助を

A 他市の取り組み事例等を参考に調査研究する

議員 子供たちの習い事は多岐にわたっており、その中から自分にあった「好きなもの」を見つけて欲しい。そのためにも、多くのことにチャレンジできるよう手助けが必要ではないか。

こども健やか部長 子供たちが、習い事によりさまざまな個性や才能を伸ばす機会を得ることは、将来の可能性や選択肢を広げるための一助となるものと考えている。一方で、行政が取り組むべき事業としては、将来、進学や就職などに大きな影響が出ないよう、低所得者世帯を対象とした学習支援事業を実施しており、今年度から対象者を高校生までに広げ、大学受験料や模試受験料の支援を開始したところである。議員提案の所得制限などを設けない、対象年齢全ての子育て世帯に対する習い事の月謝や入会金への支援については、多額の財政負担が生じることから、施策の優先性や費用対効果を鑑み、現時点では考えていないが、先行する他市の事例などを参考に調査研究を進めていく。

その他の質問

Q 公園や市管理地にドッグランを造ってほしい。

A 適切に運営できる公園施設・管理体制が必要。



公園や市管理地にドッグランを



録画配信 

市民要望

つぶやき
市議会議員生活32年、最後の一般質問です

日本共産党戸田市議団
花井 伸子 議員

Q きめ細やかな相談業務を

A 関係機関と連携し丁寧に対応する

議員 日本共産党戸田市議団は市民のみなさんの声をお聞きして市の予算や市政運営に活せるよう「市民アンケート」を実施し、市長に要望書を提出した。分野別に要望が多かったものの上位と、具体的に記された声について、現時点での市の対応と考えるについて質問する。①安全・安心な学校給食の無償化②0・1・2歳児保育料の負担軽減③医療的ケア児への対応④介護保険料・国保税の引き下げ⑤トコバスの増便・ルート増設・両回り運行⑥歩道の整備⑦早急な治水対策の強化⑧避難所・備蓄品⑨温暖化対策⑩納税及び福祉相談業務について。

各部長 ①地域間格差が生じないように国で対応すべき課題②近隣自治体等の動向を注視し研究する③施設拡大を引き続き検討する④介護保険、国民健康保険の運営ができるよう必要な保険料・税の設定を進める⑤運転手不足の深刻化など、多くの課題がある⑥条例等に基づき、有効幅員の確保やバリアフリーの視点を取り入れた構造とする⑦引き続き、部局横断的な取り組みを進めていく⑧見直しを続け増強に努める⑨環境施策を総動員して脱炭素社会の実現を目指す⑩総合的な観点を踏まえ適切に対応するとともに関係機関との連携を図り丁寧に対応する。

議員 地方自治の理念にのっとり「市民の声にどうすれば応えられるか」の視点で取り組んでほしい。



建て替え予定の西部福祉センターはコミュニティーと防災の拠点へ



健康維持 向上施策

令和会
やま ざき まさ とし
山崎 雅俊 議員

Q ウェルネスマイレージのポイント対象は

A ウォーキングのほか各種イベントが対象

議員 現在のコバトン ALKOO マイレージで、健康診断の受診や各種イベント参加からもポイントを貯められるような方法はないか。

健康福祉部長 今年度から、ウォーキング以外にも、市が開催する運動教室や健康意識を高めるイベントなどに参加した場合が対象となっており、専用の二次元バーコードを読み込むことでポイント付与を行っている。



コバトン ALKOO マイレージ

その他の質問

Q 自主防災会だけでなく、さまざまな方が訓練に参加する必要があると思うが、いかがか。

A 今年度から実施しているデジタル防災訓練などをきっかけとして、中高生や事業所など若い力や新しい市民層にも参加を促す方策を検討する。

Q 公園ちびっこプールは、利用者の減少や担い手不足などを考慮し、一度廃止を検討すべきでは。

A 公園への愛着などの醸成にもつながっているものと考えていることから、まずは、利用者の増加につながるような支援をしていく。町会から要望がある場合は運営の状況などを検討いただき、廃止や撤去について相談いただきたいと思います。

議会を傍聴してみませんか?!



議 会 傍 聴 案 内

議会はだれでも傍聴することができます。
(事前予約不要)



《 傍 聴 の 流 れ 》

STEP 1

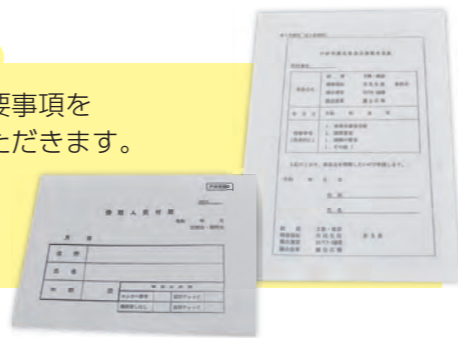
【本会議】
市役所 8 階傍聴受付にお越しください。



【委員会】
市役所 6 階議会事務局にお越しください。

STEP 2

受付簿に必要事項を記載していただきます。



STEP 3

傍聴の心得を守り、傍聴してください。
会議の途中でも入退場は可能です。

STEP 4

お帰りの際に、傍聴券を職員に返却してください。



その他

直接議場に来ることができない場合には、パソコンやスマホ等で視聴することもできます。

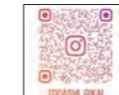


議会録画中継
QRコード

また、議会 SNS からさまざまな議会情報を確認することができますのでぜひこちらをご覧ください。



Facebook



Instagram

議会 topics

新議場システム 稼働開始

新しい議場システムに変わりました!

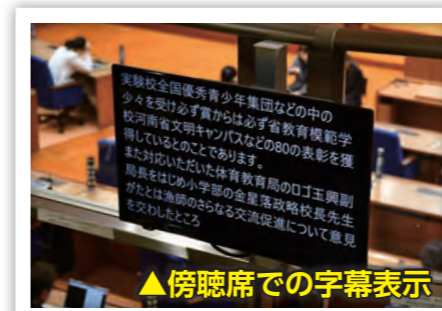
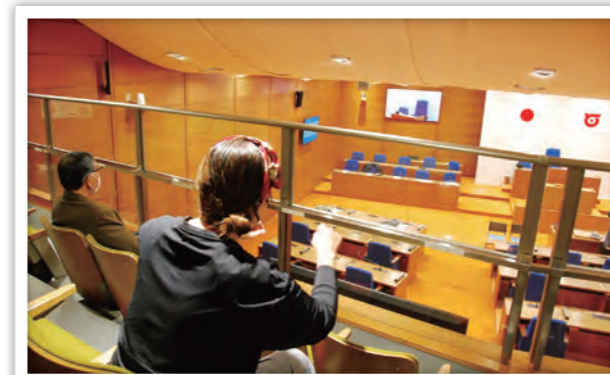
以前のシステムを導入してから 10 年以上が経過したこともあり、新しいシステムに更新しました。これにより、議会中継が見やすくなり、映像配信時のテロップ表示やライブ配信には字幕表示ができるようになりました。

また、議場内に大型モニターが設置され、一般質問の参考資料等を映し出すことで、より分かりやすい情報発信を行うことができるようになり、市議会モニターには事前に新システムを体験いただきました。

ぜひ、実際に傍聴に来たり、議会中継からこれまでよりさらに開かれた戸田市議会をご覧ください。



▲大型モニター



▲傍聴席での字幕表示



▲ライブ配信時の字幕表示



▲自動昇降式の質問席▲

東部福祉センター体育室の冷房整備等に関し要望書を提出

健康福祉常任委員会では、東部福祉センターの体育室について、夏の酷暑のなかでも利用者が安全に運動できるように、また、災害発生時の指定避難所としても安全な運営が可能になるように、冷房設備の整備等を要望しました。



要望書を提出

令和6年 戸田市議会年間活動成果

区分	委員会名	年間活動テーマ	年間活動成果
政策立案・政策提言	総務常任委員会	能登半島地震を受けての避難所運営の在り方について	提言書を執行部へ提出
	文教・建設常任委員会	特色ある学校づくりについて	調査報告書を執行部へ提出
	健康福祉常任委員会	障害福祉を施策展開するために～差別解消、合理的配慮、就労強化を目指して～	提言書を執行部へ提出
	市民生活常任委員会	文化・スポーツ施策について	提言書を執行部へ提出
議会改革	議会改革特別委員会	議会におけるデータ活用について	データ活用の意義や手法などについて調査研究を行い、議会全体での研修会を実施
		議員報酬等の見直しについて	議員報酬について、市長に対して特別職報酬等審議会の開催を要望することについて及び特別職報酬等審議会の答申等を踏まえ、適正な議員定数について協議
		政務活動費の見直しについて	政務活動費における宿泊料について、特別な事情があり、議長が特に認めた場合に限り上限額を超えて充てることができる例外規定を設けた
		グループウェアの導入について	災害時における効率的な情報共有及び平時における連絡調整等で活用できるツールとして、LINE WORKSを導入

成果の詳細はこちら



各委員会では、年間活動テーマや検討事項を定め、行政に対する政策提言・政策立案や議会改革を積極的に行っています。

ここでは、今年度の各委員会の活動成果の概要をお伝えします。

健康福祉常任委員会

障害福祉の施策を展開し、全ての人が共に生きる社会へ

令和6年4月の「戸田市障がいを理由とする差別のない共生社会づくり条例」の施行を受け、主に差別解消・合理的配慮・就労強化の観点から、実効的な施策を展開していただけるよう、提言書を提出しました。提言項目は、①障害理解の促進の場づくりやその検証、②合理的配慮の推進を助ける制度の整備、③市における障害者雇用の更なる拡充、④就労推進部会の活性化、⑤福祉と産・官・学の連携の5点です。



電子機器の基盤解体を行う就労継続支援事業所を視察

総務常任委員会

安心して過ごすことができる避難所運営に向けて

能登半島地震における避難所運営の状況を調査するとともに、過去に当委員会で提言してきた避難所運営に関する提言内容への対応状況の検証などを行い、「避難所運営の在り方等に関する提言書」を提出しました。提言書では、避難者からのニーズに対応できる仕組みを構築することや、指定避難所以外の避難者の状況把握及び支援ができる体制を構築することなどを提言しています。



本庁舎1階の防災備蓄倉庫を視察

市民生活常任委員会

スポーツ機能の充実をはじめ誰もが利用できる複合施設に

戸田市スポーツセンターの再整備に当たって、スポーツ機能の充実をはじめ、スポーツをする人もしない人も気軽に利用できて、健康増進、文化活動の推進、防災機能の強化、にぎわい創出などにつながる持続可能な複合施設となるよう提言書を提出しました。市民の希望が反映される仕組みづくりや進捗状況の公開により、みんながワクワクしながら新しい施設の誕生を期待できる再整備事業となることを期待しています。



何度も活発に議論しました

文教・建設常任委員会

子供たちが自分の居場所を実感できる学校環境の整備を

昨今、子供たちを巡る環境は一層深刻さを増しており、全国の小中学校で不登校となっている児童生徒は11年連続で増加しています。本市も例外ではないことから、子供たちが主体的・本質的に学べる学校環境の整備に力を入れている事例を調査し、報告書として提出しました。特に注目すべきは、児童一人ひとりが自分の居場所を実感できる環境を整え、不登校ゼロを達成している学校が存在していたことです。



校内にある、赤じゅうたんの際立つ「議会」で自分たちのことを決めます

まちづくり・交通対策特別委員会

まちなかウォークブル推進事業に関する要望書を提出

まちづくり・交通対策特別委員会では、令和5年度より調査事項に加えた、まちなかウォークブル推進事業に関し、要望書を提出しました。滞留性を高め、歩きやすく居心地のよい空間を創出することや、社会実験を実施した北戸田駅・笹目川周辺にとどまらず事業範囲を拡げ、回遊性を生み出せる整備を推進し施策を実施すること等を要望しました。



シェアオフィス・シェア店舗の並ぶ鉄道高架下を歩きました

4年間の委員会活動報告



本市議会の各常任委員会では、令和3年2月の初議会以来、4年間にわたり毎月委員会を開催し、先進地への視察や執行部へのヒアリング、関係団体との議会懇談会を実施するなど、活発な委員会活動を通して、執行部への政策提言および政策立案を行ってきました。

また、議会改革特別委員会では、より良い議会を目指し、日々議会改革に取り組んできました。4年間の総まとめとして、各常任委員会が残した成果と、議会改革の歩みをご紹介します。

成果の詳細はこちら



総務常任委員会

- 令和3年 誰一人取り残さない人にやさしいデジタル化の実現に向けた要望書
市役所業務におけるICT化に関する提言書検証結果報告書
- 令和4年 公共施設等の現状と今後の対応に向けた提言書
- 令和5年 戸田市における防災対策についての提言書
戸田市「ありがとう」を伝え合おう条例を制定
- 令和6年 避難所運営の在り方等に関する提言書



文教・建設常任委員会

- 令和3年 中央図書館・郷土博物館及びICT教育に対する要望書
自転車通行空間及び土地区画整理事業に対する要望書
- 令和4年 自転車のまちに向けた取り組み等についての提言書
中学校での評価・指導の在り方についての報告書
- 令和5年 学校における防犯体制の強化についての提言書
- 令和6年 特色ある学校づくりについて、調査報告書



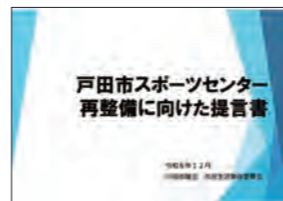
健康福祉常任委員会

- 令和3年 ウィズコロナ・ポストコロナ対策についての要望書
新型コロナウイルスにより生じた社会的孤立・分断についての調査結果及び要望書
- 令和4年 こどもの居場所づくり事業についての提言書
- 令和5年 子ども・若者の支援についての提言書
- 令和6年 障害福祉を施策展開するための提言書



市民生活常任委員会

- 令和3年 コロナ禍における市民活動団体に対する支援を求める要望書
戸田市スポーツセンターの建て替えを含めた再検討を求める意見書
- 令和4年 脱炭素社会の実現に向けての対応策等についての提言書
- 令和5年 町会・自治会と行政の関係についての提言書
- 令和6年 これからのスポーツ施設の在り方や民間活力の手法などについての提言書



議会改革の歩み

議会の機能強化などのため、議会改革特別委員会を中心に協議しています。

ここでは、市議会で進めてきた4年間の取り組みの一部を紹介します。

令和3年

- 災害等の非常時にオンライン委員会ができるよう条例等を改正
- 傍聴席に字幕用のモニターを設置



議場の傍聴席ではわかりやすい発信に努めています

令和4年

- 中学生との意見交換会「とだみらい会議」がスタート！

毎年テーマを変えて開催しています。



この年はオンラインで開催しました

- 全国に先駆けて政務活動費管理システムの実証実験への参加を決定！
手作業中心だった事務処理が大幅に向上したほか、議会ホームページでよりわかりやすく情報をお知らせできるようになりました。現在も実証実験を継続して効果の検証などを行っています。

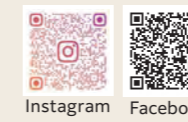


政務活動費の使途がグラフで確認できます

令和5年

- 戸田市議会公式 Instagram、Facebook ページを開設
フォローをよろしくお願いします！

普段見ることができない議会の裏側が見られるかも!?



性別によって服装が制限されることがないように、多様性の尊重などを目的としています

- 全国初！議会における服装の自由化「戸田市議会・インクルーシブ・スタイル」を開始
会議規則等の服装に関する規程を削除しました

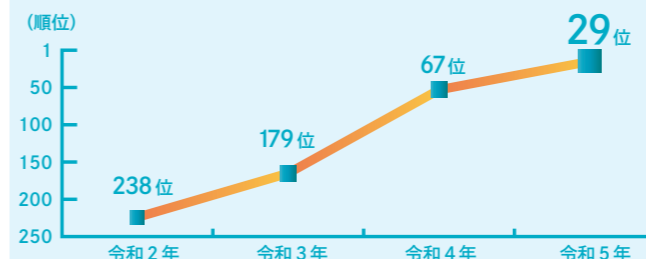
令和6年

- 災害時でも議会の役割を発揮するため、議会における業務継続計画「戸田市議会 DCP」を策定
- 子育てや介護などの理由で、委員会にオンラインで出席ができるよう条例等を改正
- 議場システムの改修を実施 ※詳細は、15ページで紹介しています



9月定例会の委員会では、委員長がオンラインで出席して進行了

議会改革度調査の総合ランキング



★議会改革度調査の総合ランキングが大幅上昇！
議会改革度調査とは、早稲田大学マニフェスト研究所が、全国の地方議会の取り組みを調査しランキングとして発表しているものです

全国約1800議会のうち29位！
埼玉県内では2位！

「その後」を追跡！ あの提言はどうなった？



令和5年1月 市民生活常任委員会が提出 「脱炭素社会の実現に向けた提言書」

ごみ減量化に向けた取り組みとして、給水スポットの設置を提言



市民生活常任委員会による提言書▶

委員会による提言や一般質問でも提案され
その後…

無料で利用できる 『マイボトル専用給水機』を設置!!

ペットボトルについては、1人当たり年間約200本がごみとして排出されています。これは、世界で2番目の数値です。プラスチックごみにおける影響として、海洋汚染が問題になっており、このままだと2050年までに海の中のプラスチックごみが魚の重量を超えるのではないかとされています。

そこで、使い捨てプラスチック製品の使用抑制、プラスチックごみ削減、環境意識の啓発等を目的に、他自治体でも効果が上がっているマイボトル専用で浄水機能が備わっている水道直結式の給水機が、戸田市役所庁舎2階と3階の給湯室にそれぞれ1台、彩湖自然学習センター4階に1台の計3台が設置されました。

どなたでも自由にご利用いただけますが、設置目的から紙コップなどは置いておりませんので、マイボトルをお持ちいただきご利用ください。

なお、現在の設置場所や今後の設置については、これからも追跡していきたいと思っております。



題字を 書いて くれた人

意識したところは、太く力強く書くことです。最初に書いた時よりも、とても上手に書くことができたのでよかったです。私は、もともと字を書くのが好きだったので、今回、代表に選んでいただけたことがとても嬉しいです。

戸田東小学校6年 ^{やたがい} ^か 八谷 あす香 さん



次回2月臨時会・3月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
	2/3	4	5	6	7	8
				臨時会		
9	10	11 建国記念の日	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
				議案説明		
23 天皇誕生日	24 振替休日	25	26	27	28	3/1
2	3	4	5 総括質問	6 質疑	7 常任委員会	8
9	10	11	12	13 特別委員会	14 一般質問	15
16	17	18	19	20 春分の日	21	22
			一般質問			
23	24	25	26 討論採決	27	28	29

とだ議会だよりの4年間を振り返って

令和3年初議会号（No.212）から、今回の令和6年12月定例会号（No.228）まで、4年間の任期中に17刊の議会だよりが発行されました。ご愛読いただきました皆様に対し、委員一同感謝申し上げます。

議会広報委員会では、より読みやすい紙面を目指し、先進地の視察や議員研修会を行い、日々協議を重ねてまいりました。その成果として、令和4年3月定例会号では、「左開き・横書き」に紙面の大幅リニューアルを行いました。

改選後の議会だよりにについても、引き続きご愛読いただき、ご意見・ご感想をお寄せいただきますよう、よろしく願い申し上げます。

議会広報委員会委員一同

※本紙は環境に配慮し「バイオマスインキ」を使用しています